



学校だより

令和5年10月31日
横浜市立上白根小学校
【11月号】



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



初めての宿泊体験学習

副校長 内 和俊

10月18日(水)～19日(木)の一泊二日で、5年生と一緒に野島宿泊体験学習に行ってきました。5年生にとっては、初めての宿泊体験学習。当日は天気も良く、気持ちのよいスタートとなりました。

一日目の最初は、柴漁港の見学でした。漁港では、アナゴ漁師の斎田さんから持続可能なアナゴ漁の在り方についてお話がありました。アナゴ筒というアナゴに傷をつけない漁法、小さいアナゴを取らないようにする穴のあけ方の工夫、そして魚の住処や環境を守るための活動など、様々な話を子どもたちは真剣に聞いていました。「環境が壊れるのは一瞬だけど、それを修復するのは長い年月がかかる」という言葉はとても重みを感じました。また、お話の後は漁港内を案内してくださったり、生のアナゴやタコ・ヌタウナギなどを実際触らせてもらったりしました。初めての感触に子どもたちは大興奮でした。

その後、一日目のメイン活動はカレー作りです。6つのグループに分かれてそれぞれ20人分のカレーを作ります。山のような野菜を協力しながら切ったり、鍋いっぱい材料をいためたり、みんなで協力しながらカレーを作りました。おうちでも練習してきたのか、野菜を切るのが上手な児童がたくさんいました。みんなで作ったカレーは、どのグループもとてもおいしく仕上がり、ご飯も上手に炊けていました。中にはおかわりを何杯もしておなか一杯で動きづらそうな児童もいました。

そして、夜はキャンプファイヤーです。体験学習のテーマが「野島クエスト」ということで、実行委員を中心に有名ゲーム「ド○ゴクエスト」をモチーフにしたような、工夫を凝らしたキャンプファイヤーでした。途中、校長先生も飛び入り参加して大いに盛り上がりました。ゲームをしたり、歌ったり、踊ったりと火を囲みながらみんなで盛り上がったことは、とても良い思い出になったと思います。

2日目は、活動班ごとの活動です。自分たちでシーサイドラインに乗って目的地まで行く活動では、地図を読むことが難しかったり、前の班を頼りについていって一緒に道を間違えたりなど、いろんな問題にぶつかりながらも、自分たちでその都度解決しながら無事目的地に到着しました。海ではごみを拾ったり、波と遊んだり、砂浜で思い切り運動したり、午後のシーパラダイス見学もあわせて盛りだくさんの内容でした。

この2日間の体験では、自分の思い通りにならなかったり、うまくいかなかったりすることもたくさんあったと思います。でもそれでいいんです。そんな時、どう工夫するか、どう解決するかを学び、力をつけることが大切です。5年生は、この2日間でたくさんのお話を学んだことでしょう。10月は他にも、様々な学年で校外学習がありました。この経験を子どもたちの日々の学習活動に生かしていきたいと思っています。